

## 酸性亜鉛めっき光沢剤

## 永輝ジンク S L - M

永輝ジンク S L - Mは、塩化アンモン浴でも塩化カリ併用浴でも使用でき、しかも、つき廻りに優れた画期的なメイキャップ剤であります。2液性ランニング剤の永輝ジンク S E - 2、G R - S、G R - T、G R - V、G R - Z、1液性光沢剤の永輝ジンク S L - 1、S L - 1 1 Hに使用できます。(特に静止浴にはG R - S、G R - Vの組合せが最適です)

## 1. 作業条件及び、めっき液組成

	ア ン モ ン 浴		アンモン-カリ併用浴	
	バレル浴	静止浴	バレル浴	静止浴
塩化亜鉛	30～60 g/L	40～80 g/L	30～60 g/L	40～80 g/L
塩化アンモニウム	170～220 g/L	170～220 g/L	80～120 g/L	80～120 g/L
塩化カリウム	—	—	80～120 g/L	80～120 g/L
pH	5.8～6.2	5.8～6.2	5.8～6.2	5.8～6.2
陰極電流密度	0.5～2A/dm <sup>2</sup>	1～6A/dm <sup>2</sup>	0.5～2A/dm <sup>2</sup>	1～6A/dm <sup>2</sup>
浴電圧	8～12V	5～10V	8～12V	5～10V
浴温度	20～40℃	20～40℃	20～40℃	20～40℃

## 2. 光沢剤の補給方法

作業条件(浴温、汲み出し量等)によりますが、およそ次のような補給が基準となります。

## ① 2液性光沢剤使用の場合

光沢剤	建浴量 (m l / L)	補給量 (m l / K A H)	補給方法
永輝ジンク S L - M	20～40	100～200	分割又は自動滴下
永輝ジンク S E - 2	0.5～2.0	30～100	〃
永輝ジンク G R - S	0.3～1.0	20～100	〃
永輝ジンク G R - T	0.3～1.0	20～100	〃
永輝ジンク G R - V	0.2～0.5	20～100	〃
永輝ジンク G R - Z	0.2～0.5	20～100	〃

## ② 1液性光沢剤使用の場合

物性重視で光沢を出したくない場合に1液性光沢剤(S L - 1、S L - 1 1 H)を減らしてS L - Mを併用してください。(1液性酸性亜鉛めっき光沢剤のカタログ参照)

## 3. 性状

光沢剤	外観	比重(20℃)	pH
永輝ジンク S L - M	やや霞み～透明褐色液体	1.08	6～8
永輝ジンク S E - 2	やや霞み～透明淡黄色液体	1.05	2～6
永輝ジンク G R - S	〃	1.08	4～8
永輝ジンク G R - T	〃	1.05	4～6
永輝ジンク G R - V	〃	0.98	3～7
永輝ジンク G R - Z	〃	1.02	5～7

## 4. 荷姿

20kg入                      ポリ袋入りダンボール箱  
200kg入                     ドラム缶